

株式会社スピード

本社
瀬戸市栄町26番地
サンシャイン栄ビル301

☎0561-76-0989
🌐https://speedinc-jp.com/

デジタルコンテンツ・ソフトウェア産業を推進するべく、産学官連携のもと2012年に設立。瀬戸、東京、名古屋にスタジオを構え、3DCG、VFX、2Dなど幅広い技法を使い、エンターテインメントコンテンツを作り出すクリエイティブカンパニー。2020年1月、名古屋市中村区にモーションキャプチャーのスタジオ「モーキャプスタジオ55」を設立。同年9月、名古屋テレビ塔の3階にVR&AR施設「スピードXR」をオープン

SPEED WORKS

1 スピードXR

名古屋テレビ塔3階にあるVR&ARの体験型施設。最先端のデジタル技術を生かしたさまざまなコンテンツを楽しめます

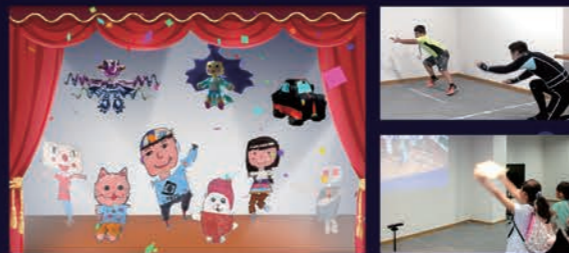
2 とりっぷせとまち

～君と歩く瀬戸もの語り～

文化庁平成30年度歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業の一環で制作。瀬戸の歴史・文化財について学びながら、観光を楽しめるスマートフォン向けアプリ

3 猫企画

猫×大怪獣×スーパーヒーロー、なんでもアリのハイパーブラックコメディアニメ。行政・企業・教育機関等との連携により企画・制作



第9回「Seto CG Kid's Program」(2019年8月3日開催)のテーマは、「モーションキャプチャーを使って3DCGアニメーションをつくらう」。コンピュータグラフィックスを使ったキャラクターのデザインやアフレコ収録を体験するほか、プロの演技指導のもと最新のモーションキャプチャー技術を生かした3DCGアニメーションを制作しました



巻頭特集 瀬戸発のクリエイティブカンパニー 株式会社スピード

デジタルネイティブ世代の子どもたちへ

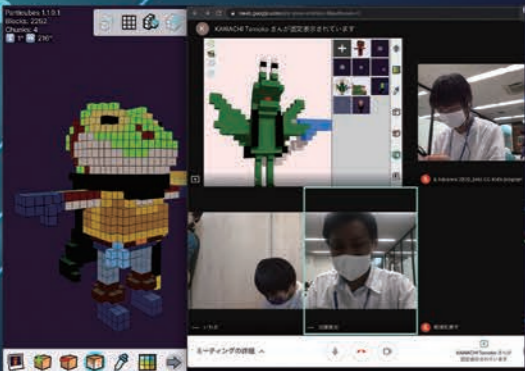
瀬戸、東京、名古屋にスタジオを構える株式会社スピードは映画、ゲーム、VRを使ったエンターテインメントの制作をはじめデジタル技術を生かした新しいビジネスモデルの構築など、幅広く事業を展開。瀬戸の子どもたちを対象とした「Seto CG Kid's Program」の企画・運営など、デジタル時代に活躍できる人材の育成にも努めています。代表取締役の岩木勇一郎さんに、デジタル産業への思いや展望について聞きました。

「百年に一度の産業革命のような時代ですから、新たな子どもたちのチャレンジを見守っていきたい」

子ども時代にはリアルな体験をしてほしい
スピード設立後、岩木さんは東京と愛知を行き来していますが、子ども達との時間を可能な限り作り、自然の中で伸び伸びと育てることを意識し、できるだけ大人から答えを言わず、失敗しても自分で考える力が大切だと考えています。
3人の子どもの父親である岩木さん。子どもたちとキャンプをしたり、一緒に料理をすることもあります。「子どもがタブレットで遊ぶ時間は

「失敗は、おめでとう」
なぜなら失敗することで成功に近づくから。社会に出れば理不尽が多い、打たれ強くしてほしい
Message from SPEED

運営。プロから直接学び、デジタルコンテンツ制作のおもしろさを体験できます。「瀬戸の子どもたちのモノづくり技術の高さに驚きました。毎年、学校で粘土土を使って粘土制作をしているためでしょうか。瀬戸から優秀なクリエイターが育つてくれればうれしいですね」と語ります。
2020年にはアニメキャラが音声で陶都瀬戸を案内するARアプリ「とりっぷせとまち」、2021年には「陶のまち 瀬戸のお雛めぐり」に合わせ、お雛様になりきれ「きせかえARアプリ」を制作。瀬戸のま



左)今年度の「Seto CG Kid's Program」はコロナ禍のためオンラインで開催 上)3DCG原型から3Dプリンターで制作したオオサンショウウオ

「現代の子どもたちは、生まれたときからデジタル機器に囲まれているデジタルネイティブ。百年に一度の産業革命のような時代ですから、新



株式会社スピード 代表取締役
いわき ゆいちろう
岩木勇一郎
瀬戸市出身。デジタルコンテンツ産業推進「Digital Animation Tube!」主宰、ナゴヤインベーターズガレッジ運営委員、なごのキャンパスメンター

「ふるさと瀬戸で起業 デジタル時代を担う会社へ」
ヒット映画や人気ゲームのCGなど、数々の作品を手がける株式会社スピード(以下、スピード)。瀬戸市出身の代表取締役・岩木勇一郎さんは「若いころは東京で仕事に打ち込み、地元について考える余裕がありませんでした」と振り返ります。しかし30代に入り、帰省するたびに「パスの本数が減っている」「子どもが少なくなっている」とふるさとの変化を感じるように。高齢になる両親も気がかりで、次第に地元が目が向くようになったといいます。
そのころ、愛知県からデジタルコンテンツ産業を推進する会議への参加

将来なくなる職業が話題ですが愛知県においても新しい産業の創出が急務。子どもたちには、世界の現状を知ってほしい
Message from SPEED

コロナ禍によりオンライン化が一気に加速。スピードでは、もともとオンラインで面接を行っていました。「オンラインとリアル、どちらがいいかをよく聞かれますが、それぞれにメリットがあり比べるものではないと思います。普段の打合せもオンラインが多く、午前中に海外、午後から東京や大阪との打合せも可能になりました。リモートスタッフも増員中。瀬戸で採用されても、他の地域で暮らしながら仕事ができます。この働き方が浸透すれば、東京の一極集中も変わるかもしれません」。
岩木さんは、経営者の立場から学生のベンチャー企業やスタートアップなど新しいビジネスの支援もしています。「医療系の地域企業との連携も進めています。例えば、リハビリのデジタル化を進め、楽しんでいたらリハビリになっていたというのが理想です」と岩木さん。スピードの3DCG技術から、さまざまな可能性が広がります。

デジタル技術を駆使し可能性が広がる
これからはハードではなくソフトの時代です。デジタルエンジニアは全然足りていません。オンライン化の加速で、地方にもチャンスが広がっています
Message from SPEED

たな子どもたちのチャレンジを見守っていきたくすね」。
また、毎年夏に瀬戸市の小学生向けに開催されるICT教育講座「Seto CG Kid's Program」を企画

3DCGの技術を生かし商品開発や人材育成
スピードでは、地元瀬戸に密着した事業も展開。陶器を中心にさまざまなキャラクターの原型を作る瀬戸の原型師は、世界トップレベルの技術を誇ります。その原型師とともに3DCG原型を制作することで、データとして保存、コピー、加工が可能に。1体の原型からいろいろなバリエーションの商品が容易に開発できるようになりました。「3DCGの会社が製陶業者と一緒にモノづくりを行う事例は全国的に見ても珍しい取り組みです」と岩木さん。

瀬戸焼の伝統技術も、最新デジタル技術もモノづくりという原点は同じ。世界トップクラスの原型師の技術を若い人に供与したい
Message from SPEED